

たこかし



<http://www.suginami-school.ed.jp/takaido4shou/>

杉並区立高井戸第四小学校

みんなが気持ちよく過ごすために

主幹教諭 山口 悠介

7月に入り、梅雨明けが待ち遠しい毎日ですが、子供たちは元気に学校生活を送っています。

今年度の高井戸第四小学校の教育活動のテーマは、「思いやりの心」と「挑戦し続ける心」です。高井戸第四小学校では、1年間に3回「ふれあい月間」を設定し、子供たちが、仲良く、楽しく、気持ちよく学校生活を送れるようにいくつかの取り組みを行っています。今回は、その中の3つをご紹介いたします。

「いじめ防止」、「人権尊重」、「公正公平」などをテーマにした授業

45分の授業の中で「なぜ、いじめはいけないのか。」「人を差別するとはどういうことなのか。」「正しい行いとは何なのか。」など普段から指導していることを改めて授業の中で子供たちと共に考える時間をとっています。ダメだと分かっていても、何気なく人を傷つけてしまうことがあります。そうならないために、もう一度、日々の自分自身の行動を振り返ることで友達への接し方が変化していく子供もいます。

学校生活についてのアンケート

子供たちが、学校生活の中で、楽しいことや、困っていること、悩んでいることなどをワークシートに書きます。誰にも見られないように座席の間隔をあけて取り組むので、子供たちは、安心して学校生活について書くことができます。記載内容をもとに、友達とのトラブルや悩み事などを教員が聞き取り、早急に問題を解決するようにしています。また、その後の経過観察も行い、子供たちが気持ちよく過ごせるように見守っています。

高四ふれあいの木

1階印刷室前の掲示板に大きな「高四ふれあいの木」を掲示しています。その木に、毎学期、子供たちの見つけた「ありがとうの気持ち」や「感謝の気持ち」を掲示します。1学期は、2, 4, 6年生が、2学期は1, 3, 5年生が、花や実のメッセージカードに友達や、日頃お世話になっている方々への「ありがとう」や「感謝の気持ち」を書きます。また、3学期には、お世話になった6年生にメッセージを書きます。1年間を通して温かい気持ちでいっぱいの「ふれあいの木」は子供たちの心を癒し、みんなを幸せな気持ちにしてくれます。学校ホームページにも一部、紹介していますのでご覧ください。

このような取り組みを通して、児童、教員、保護者、そして地域の方々が、お互いの存在を大切にしようとする意識の向上を図っていきます。これからも、一人一人が、気持ちよく、安心して過ごしていくようにしていきます。